

相続 そうだん ③ しつ

— いろんな視点から —

「公正証書遺言」に魔法の言葉をプラス



かめしま・じゅんいち / 身内の相続トラブルがきっかけで相続を徹底的に学ぶ。不動産活用にも詳しいが、特定の分野に偏らないスタイルが持ち味

執筆 / 亀島淳一(株)シナジープラス代表

押さえておきたい遺言書のポイント

相続を家族がもめる不幸な出来事にさせないために、遺言書が大きな役割を果たすことはよく知られています。

遺言書には種類があります。

自分で書けるけれど有効性が心配な「自筆証書遺言」、内容を一切秘密にできる「秘密証書遺言」、法律の専門家(公正証書遺言)の三つです。自筆証書遺言と秘密証書遺言は、どちらも隠匿や紛失の可能性があり、開封には家庭裁判所の検認手続きも必要です。

一方、手間も費用もかかりませんが、確実性があるのが公正証書遺言です。公正証書遺言の原本が保管されるので、隠匿等の心配がなく、家庭裁判所の検認手続きも必要ありません。

それぞれに長所短所がありますが、相続のプロとしては公正証書遺言の作成例

「公正証書遺言」の作成例

遺言の内容

図①

- 次のもものは長男に相続させる
 - 〇〇県〇〇市〇〇番地 (実家の土地と建物)
 - 〇〇県△△市△△番地 (賃貸アパート)
 - 〇〇県□□市□□番地 (軍用地)
 - 預貯金 〇銀行△支店〇△△〇全額
- 次のもものは次男に相続させる
- 〇〇県△△市△△番地(駐車場)
 - 株式会社〇△ 株式すべて

付言

図②

・長男は、お母さんの面倒をよくみてくれ、行事ごともしっかりとやってくれて感謝しているの、その分は考慮したい。

・次男には、起業の際に1千万円を援助しているが、次男にも幸せな家庭を築いてほしいので、住宅が建てられるように土地と株を分け与えたい。

・このような思いから決めた分け方なので、父の思いを受け止めて了承してほしい。

・最後に、これからお母さんを悲しませることなく、兄弟仲良く幸せな時間を過ごすことを望みます。

※実際はどちらももっと詳しく書きます。

※次回は、今回紹介した魔法の言葉「付言」の効力を揺るがしかねない「遺留分」についてお伝えします。

正証書遺言以外をおすすめすることはまずありません。今回は、公正証書遺言を作成する際のポイントをお伝えします。

公正証書遺言では、財産を渡す人(被相続人)が、自分の意思で誰に何を渡すのかを決めることができます。例えば、左囲み①のように自由に指定できます。

遺言には、必要最低限のこと(だけ)にだけ(〇〇)の方の指定)を書くように思われがちです。ですが、分け方だけしか書いていないと、財産を受け取る人(相続人)たちの間では「何で自分にはこれなの?」「公平じゃないじゃないか」などと不満が出てきてしまい、公正証書遺言が残されていても、もめてしまう場合があります。

①の例でも分ける財産に差があります。すんなり相続人

全員の納得が得られるでしょうか? 実はこの公正証書遺言に魔法の言葉をプラスすることで、相続でのめもめごとを減らすことができます。これを「付言」と言い、財産を渡す人の「思い」を書き記すことを指します。

大切な財産の相続。単純に折半とか、3分の1ずつというわけにはいかないのでしよう。分け方を指定する際、さまざまなお考えがあるはず。受け取る人たちの間に巻き起こる不満も、誤解や理解不足によるものが多いものです。

渡す人の思いをしつかりと書き記しておくことで、受け取る人たちの疑問や不満を解消することができるようになります。

例えば、①の例に魔法の言葉を付けて図②のようにするとします。付言には法的な効力はありませんが、魔法の言葉を書き込むことで、受け取る人が親の考えや思いを知ってその意思を尊重することができ、もめる率が下がるのです。

公正証書遺言を作成するときは法律の専門家の力を借りることになりますが、「魔法の言葉」に「付言」を入れたことの旨をぜひ伝えてください。

公正証書遺言を作成するときは法律の専門家の力を借りることになりますが、「魔法の言葉」に「付言」を入れたことの旨をぜひ伝えてください。ご自分の財産を「思い」の通りに引き継いでいくためにも、ぜひみなさん、ご自分でも勉強されてみてください。毎月第1週に掲載

セミナー「遺言書のポイントと幸せ相続計画」

- ◆日時：6月7日(日) 午前10時~同11時30分
- ◆場所：レンタルスペース・シナジールーム (中城村南上原1021/ラブリモ琉大東口店2階)
- ◆参加費用：1組3,000円 (3人まで) または1人2,000円
- ◆定員：20人
- ◆問い合わせ・申し込み：(株)シナジープラス ☎098(963)9266
- ◆詳細はホームページへ <http://www.synergy-room.com/>